

Lib.

ISSN 0287-976X



Keep Innovating.

京都産業大学図書館報

Vol. 41, no. 2 (Oct. 14, 2014)

● **特集!**

京都産業大学図書館書評大賞講演会 (報告)

～本、別世界への扉～ (講師: 石田 衣良氏)

関連記事/講師: 石田衣良氏の世界

● **新検索サービス「むすびわざサーチ」始動!**

情報の探し方 No.24 「むすびわざサーチ」

京都産業大学 図書館書評大賞講演会 (報告)	2-3
講師: 石田衣良氏の世界	4-5
ビブリアたいむず	6
図書館を賢く使ってくださいます。	7
大学院生の図書館活用術	8
おすすめ紹介	9
情報の探し方	No. 24 10-13
今をキャッチ。	芝田 文男 14
自著を語る	嶋本 伸雄 15



京都産業大学図書館書評大賞講演会（報告）

～「本、別世界への扉」～

講師：石田衣良氏

本特集はWeb掲載期間が終了となりました。

京都産業大学図書館書評大賞講演会（報告）

～「本、別世界への扉」～

講師：石田衣良氏

本特集はWeb掲載期間が終了となりました。



京都産業大学図書館書評大賞講演会 ～「本、別世界への扉」～

講師：石田衣良氏の世界

今回ご講演いただいた石田衣良氏は、1960年東京都生まれ。大学卒業後は広告制作会社勤務、フリーのコピーライターなどを経て、1997年に作家としてデビューされました。そんな石田氏の作品を、いくつかご紹介します。

『池袋ウエストゲートパーク』シリーズ；I-X, Special

石田衣良著，文藝春秋，2001-2012

(913.6||ISI 2階 文庫)



デビュー作であるシリーズ第1作は、1997年に第36回オール読物推理小説新人賞を受賞。以降、シリーズは現在まで続く石田氏の代表作です。冷めているようで実は熱い男・主人公のマコト、池袋のギャング集団Gボーイズの冷酷な「キング」ことタカシなど(ある意味)魅力的な登場人物たち。ニュースで見聞きしたことがある事件や社会問題を彷彿させる各エピソード。それらが池袋西口公園を舞台に、残酷な描写でありながら爽快な魅力を放つ作品です。

今年7月にはシリーズ11作目にあたる『増悪のパレード』、9月には「青春篇」として『キング誕生』が出版されています。



『白黒つけます!!』

石田衣良著，角川書店，2011

(914.6||ISI 2階 文庫)

読者に問題を投げかけ、そのアンケート結果を踏まえて、石田氏が白黒の判断をつけていくというコンセプトで、毎日新聞に隔週で掲載されていました。読者の意見を紹介しながら、石田氏が時にはマジメに、時にはオモシロくコメントを添えています。堅苦しい表現でなく「いま」を切り取っている少し社会派なコラム集です。



『約束』

石田衣良著，小学館，2012

(913.6||ISI 2階 文庫)

友達、恋人、家族に起こる様々な出来事に、失い、悲しみ、傷つき、そこに立ちどまってしまった人たちが主人公です。止まった時間が動き出し、彼らがまた歩き出すために必要なものは何だったのでしょうか。読んだ後に心のコリがほぐれるような物語で、少しずつ読んでも一気に読んでも味わいのある短編集となっています。





『チッチと子』

石田衣良著，新潮社，2013
(913.6||ISI 2階 文庫)

デビューから10年、ずっと初版作家の主人公・青田耕平は、事故で妻を亡くしたため、家事をこなしながら小学生の息子・カケルと二人暮らし。カケルからは「チッチ」と呼ばれています。作家仲間や各社の編集者とのやり取り、文学賞の候補に挙がる前後の話や印税のこと、サイン会の様子など。「チッチはぼくだ。小説家って、こんなです。」と石田氏がこの本の帯に記しているように、作家としての生活ぶりも垣間見える作品です。

『4 TEEN(フォーティーン)』

石田衣良著，新潮社，2003
(913.6||ISI 2階)



『6 TEEN(シックスティーン)』

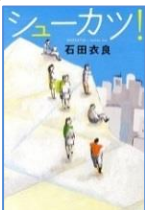
石田衣良著，新潮社，2012
(913.6||ISI 2階 文庫)



2003年 第129回直木賞受賞。

東京の月島を舞台に、14歳の少年4人組(テツロー・ナオト・ダイ・ジュン)が、それぞれに家族や友情、恋愛や病等と向き合いながら成長していきます。くだらない会話の中から「リアルな中学生」を感じる一方、様々な問題を14歳なりに受け止め、乗り越えようとする「大人」な一面もあり、自分が14歳だった頃を思い出しながら楽しめる作品です。

『4 TEEN(フォーティーン)』の続編で、2年後を描いています。4人は16歳になり別々の高校へ進学。以前のように「いつも一緒」という訳にはいきませんが、その友情は変わらず続いています。それぞれの恋愛事情や将来への不安など、彼らの成長ぶりを感じることができます。



『シューカツ!』

石田衣良著，文藝春秋，2008
(913.6||ISI 3階 資格・就職)

大学生7人が「シューカツ・プロジェクトチーム」を結成!

「真珠の女」「ダイヤの女」とは?

2006年 第13回島清恋愛文学賞受賞

『眠れぬ真珠』

石田衣良著，新潮社，2008
(913.6||ISI 2階 文庫)



小学校教師・良太が教育現場で奮闘!

『5年3組リョウタ組』

石田衣良著，角川書店，2008
(913.6||ISI 2階)



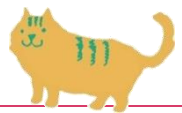
主人公・北斗の冷たい「心の闇」
2013年 第8回中央公論文芸賞受賞
『北斗：ある殺人者の回心』
石田衣良著，集英社，2012
(913.6||ISI 2階)

ビブリアたいむず



ビブリアから図書館を利用される皆さんへ

図書館サポートチームビブリアの活動内容や
お知らせなどをお届けします！



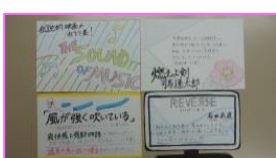
活動報告

図書館サポートチーム「ビブリア」は2013年秋に結成され、2014年春から本格的に活動を開始しました。2014年春学期は本のポップ作りをメインに取り組みました。

毎月のテーマを決め、テーマに沿った本を持ち寄り、色ペン・色紙などを用いて思い思いに仕上げていきました。ポップの大きさや全体のバランス、展示した際の見やすさなどを考慮し、毎月少しずつクオリティを上げていきました。作成にあたって、テーマにふさわしい本、ぜひ読んでもらいたい本を探していくうちに新たな本との出会いもありました。

取り扱う本は文庫本をはじめ、専門書や写真集など次第に幅広く、バラエティに富んだものになっていきました。ポップにはメンバーそれぞれのこだわり、思いが込められており、実際に手に取ってもらい、読んでもらうことで次へのやる気に繋がっていったと感じています。

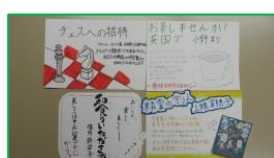
今後はさらに活動の幅を広げるため、ビブリアメンバーは日々議論を重ねています。



4月テーマ
出会いと別れ



5月テーマ
外に出かけたくなる本



6月テーマ
in doors



7・8月テーマ
夏の風物詩

メンバー構成

1年次生…0名 2年次生…4名 3年次生…1名 4年次生…4名 計9名

新メンバー募集中です！

お知らせ

リクエスト募集

「こんな企画展示、イベントをしてほしい」
「新しい分野の本を読んでみたいけど、たくさんあってどれから読んだらいいのだろう」
など、ビブリアへのリクエストを募集しています。

応募は、下記のメールアドレスまで。

lib-sensho@star.kyoto-su.ac.jp

皆様のご意見、ご要望をお待ちしています！

新メンバー募集

図書館サポートチーム「ビブリア」では、新メンバーを募集しています。

- ★ミーティングは週に1、2回程度
- ★本や図書館が好きになる
- ★企画、イベント実行に興味がある人
- ★クラブや委員会活動をしながらでも活動可能です。

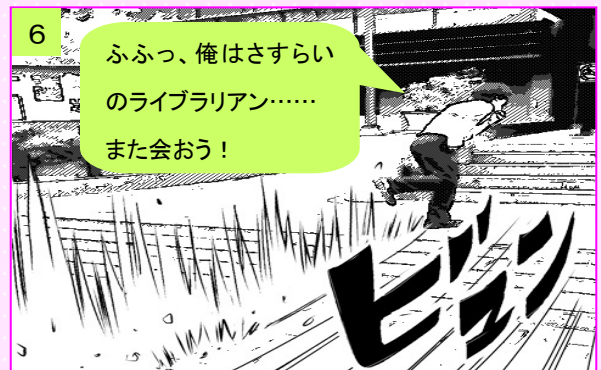
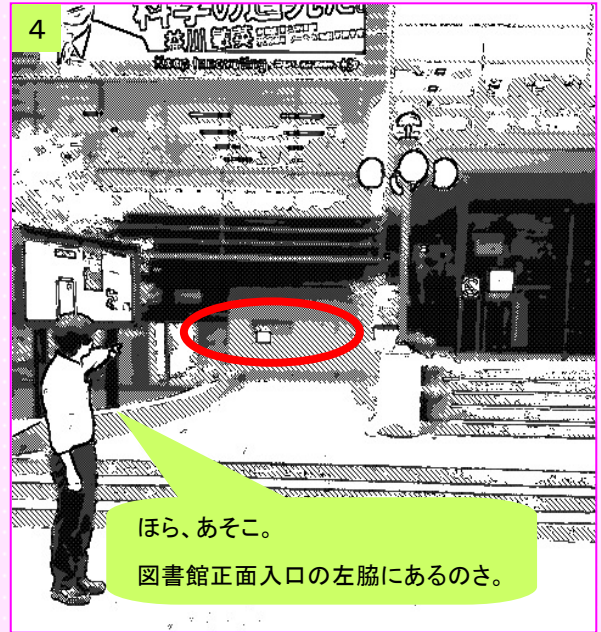
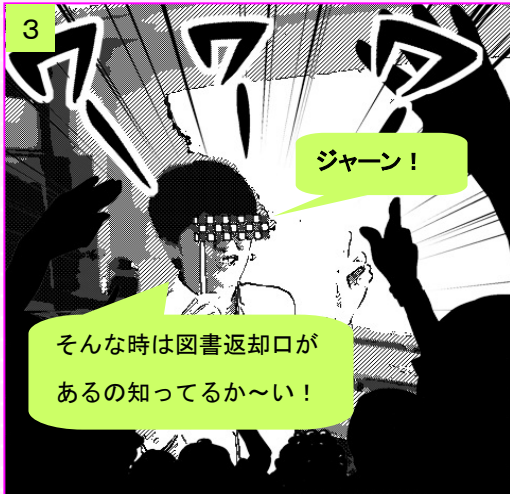
少しでも興味がある方は、

lib-sensho@star.kyoto-su.ac.jp

までご連絡ください！

図書館を賢く使っていただきます。

～その4 図書返却口の使い方～



図書返却口をご活用ください！

図書返却口は図書館閉館時にご利用ください。閉館時は2階メインカウンターへ返却してください。

大学院生の 図書館活用術

皆さんの学修や進路の参考に、大学院生の学部学生時代のお話や勉強方法等を紹介するコーナーです。

ご協力者 京都産業大学 生命科学研究所
伊藤 亜希 さん



伊藤さんの研究発表用資料

**Q1. 大学院に進学した理由を教えてください。
また、なぜ生命科学研究所を選んだのですか。**

はじめは大学院への進学は考えていませんでしたが、4年次に研究室へ配属され、先生からの研究テーマに沿って実験やフィールドワークを始めると研究が楽しくなり、進学することを決めました。

学部学生の際は総合生命科学部だったので自然と生命科学研究所を選びました。先生の研究室で大学院生の受け入れが可能だったというのも理由の一つです。

**Q2. どのような研究をしていますか。
おすすめの参考書があれば教えてください。**

私は日本脳炎ウイルスの膜の表面に存在するタンパク質について調べています。ウイルスが増殖し、生きていくためには細胞が必要です。ウイルスが細胞に侵入すると、私たちは「感染」という状態になります。侵入の仕方はウイルスによって異なりますが、日本脳炎ウイルスは膜の表面に、細胞に侵入するためのタンパク質があります。日本脳炎ウイルスの感染を防ぐために、ウイルスのタンパク質の性質を解明することで、ウイルスを細胞に侵入させないようにする薬やワクチン、日本脳炎を診断するための検査法をこれからの研究で開発できると考えています。

おすすめの参考書は、『獣医微生物学実験マニュアル』（チクサン出版）です。実験の方法が分かりやすく書かれていて、図や写真がきれいです。何か新しい実験を始めるときは、まずこの本を参考にして実験の方法を考えます。理系の本は分厚くて重いイメージがありますが、この本は重要な実験方法を短くまとめられていて、本が薄いので持ち運ぶときにも良いと思います（笑）。

**Q3. 大学院生ならではの図書館
活用術はありますか。**

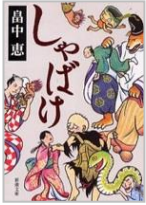
私は、気分転換するために図書館をよく利用します。いつも専門書ばかり読んでいて、たまには他の本も読みたくなるので……（笑）。また、時間があるときに図書館のWebサイトからデータベースにアクセスしてパソコンで新聞を読んでいます。一人暮らしで新聞を購読するお金が無いので助かります。

Q4. 後輩たちにメッセージをお願いします。

大学4年間はあっという間なので、いっぱい遊んで、いっぱい勉強して、無駄のない学生生活を送ってほしいと思います。



「よく遊んでよく学ぶことが大切！」
閲覧室にて



『しやばけ』

畠中恵著，新潮社，2004
(913.6||HAT 2階 文庫)

本書は、妖怪たちが多く登場し背筋が凍るような作品……。ではなく、妖怪たちは出てきますが、主人公は普通の人間の男の子一太郎で、江戸を舞台としたミステリー小説です。主人公の一太郎は江戸で有数の豪商、廻船問屋の跡取り息子。普通の子と違うところは、十七歳という若さでありながら年に何回も死にかけるほど体が弱いことと、人には見えない妖(あやかし)の姿が見えること。一太郎は、心配性の両親と過保護な妖怪たちによってほとんど店の外に出たことはありませんでした。しかし、ある晩こっそりと店を抜けだしたとき殺人事件を目撃してしまいます。それから何件も起きる不可解な事件を一太郎と妖怪たちで解決していきます。

本書はシリーズもので、現在第13弾まで発売されています。ぜひ第1弾の『しやばけ』から読んでみてください。

(文化学部 細川 由貴)

BOOK



『青いお皿の特別料理』

川本三郎著，日本放送出版協会，2003
(913.6||KAW 2階)

私たちの日常は、ささやかなドラマである。そう感じさせるこの本は、十七の作品から成る短編集だ。それぞれの話は独立しているが、登場する人物や場所が少しずつ重なって、関係がないように実はどこかで繋がっている。

作中に目立った出来事はない。普通の人々の、どこにでもある日常を切り取って淡々と描いている。ありふれた出来事、誰もが経験する感情、それらがドラマになる。

また、作品はもともと『男の食彩』という雑誌の連載であるため、毎回、食べもの・飲みものが登場する。蕎麦、カレー、きんぴら、魚の干物、「豚もやしのランデブー」……。食事も日常を彩るものである。

華やかではないが、純朴で、やさしい気持ちになれるこの一冊。さらりと読めるため、おすすめする。

(外国語学部 中野 早希)

BOOK



おすすめ紹介

学生のみなさんからお聞きした、おすすめの資料を紹介します！



『天国で君に逢えたら』

飯島夏樹著，新潮社，2007
(913.6||I1Z 2階 文庫)

美容院で働いていた純一は、旅行中に会った夏子と結婚の約束をします。しかし、夏子の父親から美容師を辞めろと言われてしまい、医者を目指すことに。無事医者になった純一ですが、彼に待ち受けていたのは勤め先にあふれている患者さんの心の叫びでした。そこで純一は患者さんたちの心を救うために「手紙屋」を始めます。

この本の著者である飯島夏樹さんは、自身の肝臓にがんを患っていました。そのためか、本の中に登場する人々は著者自身でもあり、至るところに著者の優しさや苦しみが見え隠れしています。そんな彼だからこそ描けた、「生と死」をテーマとしながらも爽快でユーモアあふれるストーリーです。

この本の続編である『神様がくれた涙』や、飯島夏樹さん自身をつづった『ガンに生かされて』も併せて、ぜひ読んでみてください。

(総合生命科学部 中村 香絵)

BOOK

原稿募集！

本学図書館にある資料の紹介を募集しています。

- 文字数：300字程度
- 募集期限：2015年2月28日まで
- 応募資格：京都産業大学学部生・院生
- 提出方法：メールにて必要事項を記入の上お送りください。
件名：「Lib.おすすめ紹介コーナー」
必要事項：氏名・学部・学生証番号・原稿内容
送付先：lib-pub@star.kyoto-su.ac.jp

※過去にご自身が書かれた文章で、Web上に掲載されたものなどはご遠慮ください。

※他者の作品の剽窃は厳禁です。

※掲載の際は、学部・氏名を掲載します。

新検索サービス始動！

むすびわざサーチ

図書館では10月より、「むすびわざサーチ 京都産業大学Discovery Service」(以下「むすびわざサーチ」)のサービス運用を開始します。図書館ではこれまで、蔵書、各種データベース、電子ジャーナル・電子ブックなどの豊富な学術情報を充実させ、皆さんに提供してきました。しかし、これらの資料・情報を検索・入手するための手段が増え、たどり着くまでの道のりが複雑になるというデメリットも発生していました。

むすびわざサーチは図書館で提供している膨大な資料*を1つの検索窓からまとめて検索することができるため、自分の必要な資料・情報に合わせて検索ツールを選択する手間を減らすことができます。

OPAC(Online Public Access Catalog)とは、いわゆるオンライン目録のことで、本学では「KSU-Cat」という名称で作成・公開しています。図書館が所蔵するほぼ全ての資料(図書、雑誌、新聞、視聴覚資料など)を検索することができます。



ここで言うデータベースとは、主にWeb上で検索ができるように蓄積されたデータの集合のことを指します。例えば、日本の学術論文などを検索・閲覧することのできる「CiNii Articles」や、百科事典など20種類以上のレファレンスブックを検索・閲覧することのできる「JapanKnowledge Lib」などがあります。



1つの検索窓から各種資料・情報を検索可

むすびわざサーチ

京都産業大学 Discovery Service



電子ジャーナルとは、Web上で閲覧可能なデジタル形式による雑誌のことです。閲覧可能なタイトルは本学で契約しているものやオープン・アクセス(無料公開)のものなどに限られます。



リポジトリには「貯蔵庫」という意味があり、研究機関が研究成果物等を電子的形態で収集・蓄積・保存し、Web上で無償公開するシステムを機関リポジトリといいます。本学では「京都産業大学学術リポジトリ」という名称で運用しています。

むすびわざサーチは単に検索するだけでなく、閲覧可能な電子ジャーナル本文やデータベースの内容などを即座に確認できます。検索結果から思いもよらない資料を発見することも可能ですので、学修・研究の効率を大幅に向上させることが期待できます。

*むすびわざサーチに収録可能な資料から順次検索対象範囲を拡大する予定です。

◆アクセス方法



むすびわざサーチへは、図書館Webサイト(<http://www.kyoto-su.ac.jp/lib/>)からアクセスします。左図の赤枠①が簡易検索窓になっていますので、キーワードを入力するだけでむすびわざサーチを検索することができます。

簡易検索窓は、②のタブで「むすびわざサーチ」と「KSU-Cat」を切り替えることができます。必要に応じて使い分けてください。また、赤枠②内の?部分をクリックすると、むすびわざサーチのトップページに移動し、機能の確認や検索ができます。

◆トップページ紹介



むすびわざサーチのトップページです。次のような機能(上図③～⑦)があります。

- ③: 新規検索、図書館Webサイトトップページ、KSU-Cat(図書館OPAC)、電子ジャーナル一覧、データベース一覧へのリンクがまとめられています。
- ④: サインイン、マイディスカバリー、ユーザー設定、言語、ヘルプ(英語)、終了など、ユーザー補助に関するメニューがまとめられています。
- ⑤: 検索窓です。キーワード、タイトル、著者のいずれかを指定して検索できます。デフォルトでは基本検索ですが、詳細検索に切り替え可能です。また、検索履歴の確認もできます。
- ⑥: OPAC(KSU-Cat)、データベース、電子ジャーナル、貴重書電子展示室、京都産業大学学術リポジトリへのバナーリンクです。クリックすると該当するWebページに移動することができます。
- ⑦: 検索対象データベース一覧へのリンクです。クリックすると、むすびわざサーチに収録されているデータベース(本学で契約しているもの)の種類を確認することができます。

◆検索事例 (2014年9月30日現在)

図1



今回は「クモの糸の性質」について、関連する文献を検索してみます(検索結果は2014年9月30日時点のものですので、ご注意ください)。

むすびわざサーチトップページの検索窓に、「クモの糸」と入力して検索ボタンをクリックします(図1)。デフォルトでは、入力した文字はキーワードとして認識され、資料の主題、タイトル、著者名など複数の項目から検索します。

図2



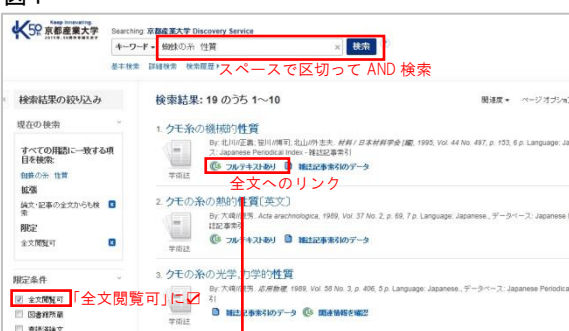
230件ヒットしました(図2)。本学所蔵の資料や雑誌記事など、図書館で提供しているあらゆる資料の検索結果が表示されます。図書館所蔵資料(KSU-Catで検索可能な資料)の場合、検索結果画面で請求記号や貸出状態などの所蔵情報を確認できます。検索結果の各資料の詳細画面に移動する場合は、各タイトル(青字部分)をクリックします。

図3



次に、キーワードを「蜘蛛の糸」に変更して検索してみます。637件ヒットしました(図3)。検索結果には、「クモ」というキーワードを含む資料も表示されているのがわかります。むすびわざサーチでは、このような「表記のゆれ」にも対応しています。キーワードによって検索結果が変化しますので、結果が思われない場合は、関連する別のキーワードを試してみてください。

図4



次に、キーワードに「性質」という言葉を追加し、さらにWeb上で雑誌記事・論文の全文を閲覧可能なものだけに絞り込みます。検索結果は19件となりました(図4)。むすびわざサーチでは、キーワードとキーワードの間をスペースで区切って入力した場合AND検索となり、一般的な検索サイトと同じ感覚で検索することができます。

Web上で全文の閲覧が可能な資料の場合、「フルテキストあり」や「PDF全文」などの表示があります。閲覧する場合は、そのリンクをクリックしましょう。今回の検索事例では、いずれも「フルテキストあり」の表示で、クリックすると「CiNii Articles」、「J-STAGE」という論文を提供するWebサイトの該当ページに移動し、全文の閲覧ができました。

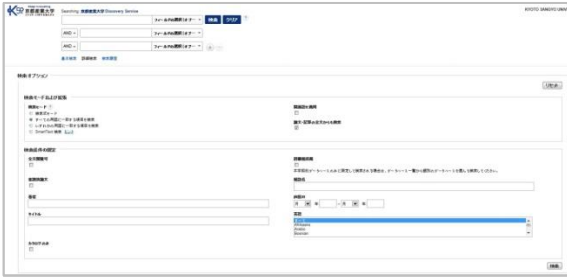


今回の検索事例はほんの一例です。皆さんも各自のテーマでむすびわざサーチを検索し、「思いもよらない資料の発見」を体感してください。

◆便利な機能

むすびわざサーチを利用する上で、知っている便利な機能、ぜひ活用していただきたい機能などを紹介します。

詳細検索機能



詳細検索では、「検索オプション」で基本検索よりも細かい条件を指定して検索することができます。

・検索モードおよび拡張：

スペース入力時のAND・OR検索の指定や関連語の適用、論文・記事本文の内容も検索範囲に含めるかどうかなどを選択できます。

・検索条件の限定：

全文閲覧可能な資料、査読済みの論文に絞り込んだり、著者、タイトル、雑誌名などを指定することができます。また、資料の言語を絞り込むことができます。

ウィジェット機能



検索結果の画面右側に、むすびわざサーチに収録されていない外部データベースを、同じキーワードで並行して検索した結果が表示されます。

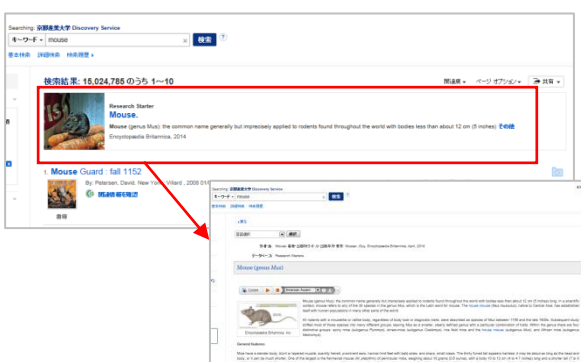
10月のむすびわざサーチ運用開始時点では、国立国会図書館などの資料を検索可能な「国立国会図書館サーチ」、全国の大学図書館などの所蔵情報を検索できる「CiNii Books」の検索結果などを表示させています。

マイディスカバリー機能



検索結果から気に入った論文記事、画像、検索式やアラート(登録した条件に合致する情報更新の通知)などを保存することのできるお気に入り機能です。利用の際は、「マイ EBSCOhost」のアカウントおよび「サインイン」が必要です。

Research Starter機能



検索キーワードによっては「Research Starter」が表示されることがあります。用語の定義、研究方法、推奨文献等の情報を即座に確認ことができ、Wikipediaと違って出典が明確なため引用可能な情報です。

「むすびわざサーチ」は、発展途上の検索サービスです。機能の充実、使用感の向上を目指し、日々アップデートされます。

皆さんの学修・研究に、ぜひご活用ください！

旬
な
話題を解説!

今をキャッチ。

キーワード 03

子どもの貧困 (解説: 芝田 文男)



子どもの相対的貧困率(子どもがいる世帯のちょうど真ん中の所得の人の半分以下の所得の世帯を貧困と考え、そこに属する子どもの数の全体に対する比率を出したもの)は厚生労働省の2012年のデータによると16.3%です。つまり6人に1人の子どもが貧困とされています。この数字はOECDという先進国34か国中、率の低い方から数えて25位という高さで主要欧米先進国ではアメリカに次いで高い(=貧困が多い)状況です。また母子家庭などのひとり親家庭の相対的貧困率は54.6%とOECD一高いです。日本の母子家庭の就労率は8割を超え先進国でも高い方ですが、非正規雇用が多く、雇用は不安定で収入は高くありません。

子どもの貧困率は近年上昇しており、長引く不況、雇用の非正規化、高齢者に厚く現役層に薄い社会保障、先進国の中では低い公的教育費の対GDP比率など様々な問題のしわ寄せが子どもたちにきています。一般に見えにくい問題ですが、その実情はかなり深刻なようです。少子化で資源も少ない日本において、子どもは将来の社会の担い手として教育や一定の生活の安定などスタートラインの保障を行うべきではないかと私は考えます。関連の本を読んで皆さんも日本の社会やこの分野の政策の在り方について考えてみませんか。

(しばた ふみお 法学部教員)

もっと知りたいあなたに。 ※芝田先生ご推薦!



『チャイルド・ブア :
社会を蝕む子どもの貧困』
新井直之著, TOボックス, 2014
(369.4||ARA 3階)

生活保護世帯の子弟の学習支援会や定時制高校であった子どもの貧困のいくつかの事例やスクールソーシャルワーカーの活動を紹介しています。子どもの貧困、その家庭の抱える様々な問題の実情を知るには、読みやすく入りやすい本です。



『ルポ子どもの貧困連鎖 :
教育現場のSOSを追って』
保坂渉, 池谷孝司著, 光文社, 2012
(369.4||HOS 3階)

やはり貧困やそれに伴う厳しい状況にある子どもとその家庭を高校、中学校、小学校、保育園の子どもを対象に追ったルポです。左記より詳しいのと、各章の間に専門家に行った短いインタビューがはさまれて彼らの考える改善すべき政策の在り方の意見を見ることができます。



『日本の不公平を考える』
阿部彩著, 岩波書店, 2008
(367.61||ABE|<1> 3階)

子どもの貧困問題に警鐘をならし世の中の注目をあびるきっかけもなった書です。様々な数字で、子どもの貧困の現状と子ども時代の貧困が大人になってからの人生に影響する「貧困の連鎖」につながるリスクについて書かれています。新書で読みやすい本です。



『解決策を考える』
阿部彩著, 岩波書店, 2014
(367.61||ABE|2 3階)

左記の続編です。子どもの貧困の数字が悪化している現状や、貧困の連鎖の要因、現金給付、現物給付などについての様々な研究成果を紹介するとともに、筆者の考える、あるべき方向性を提言しています。世間で言われている政策批判を再考し、筆者に賛成・反対いずれの立場をとるにせよ、この問題の解決策を皆さんが考えるよい参考になると思います。

自著を語る (No. 88)

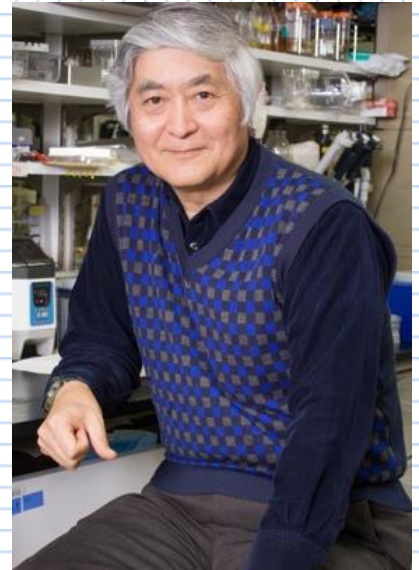


嶋本伸雄 執筆

『遺伝子が語る生命 38 億年の謎： なぜ、ゾウはネズミより長生きか？』

国立遺伝学研究所編(嶋本は第4章を担当)

悠書館, 2014 (467)KOK 3階)



この本は、前任地である遺伝学研究所にいたときに、研究所創立60周年を記念する出版の1冊として企画されたが、一度企画倒れになったものだ。当時の提出原稿と、新任教員に新たに書いてもらった100近いと思われる中から、19テーマだけを選んで、最近小林武彦氏が200頁に仕上げたものらしい。人に読んでいただくまともな本にするためには、当然の選択であろう。6年前なので、私は、内容だけでなく、書いたことすらすっかり忘れていた。突然、悠書館から原稿を送ってきたのだ。「生命のルーツは何か？」というのを担当したことも忘れていたので、他人の文章として読まなければならなかった。大した文章も書けない私は、自著を読むのはたいてい嫌いだ。しかし、これは驚いた。自分で言うのもはばかれるが、とても面白かった。物質より調節、生命誕生は偶然か必然か、ナノロボットと生物物質という切り口である。この内容を書く物好きは、研究所では確かに私だけだろうが、自分が書いたとはとても思えない。悠書館の担当者も面白がっておられた。何かの事故のようなものだろうが、生命のルーツに興味ある皆さんに、たった10頁なのでご一読をおすすめしたい。私の部分だけなら、本学のWebELS*からも読める。

生物はDNAやタンパク質などの特徴的な物質からできているが、生物の本質は、材質ではなく、調節というソフトウェアだという主張である。また、人間がDrexlerのナノロボットという全く別種の生物を産み出すかも知れず、それは危険極まりないものかもしれないとも警告している。もっとも、現在の人類だって、危険な存在ではあるが。また、生物の誕生は偶然とも必然ともよく論じられるが、偶然と必然との区別は、良くは知らない事柄に関する確率の存在を認めるかどうかにかかっており、ともすると、あまり健全な議論では無くなるのが主張されている。

本書の他の部分も楽しんで読める。面白いものがあり、おすすめである。機械論と目的論の相補性を論じた桂氏の前書きは、前書きらしくなくそれだけで深みがある。小林氏による寿命を長くするにはどうしたらよいかなども随所に宝石が隠れていそうだ。岩里、榎本両氏の脳の話は、今の脳の理解が書かれている。例に挙げきれない良文の群は、生物や生物の仕組み、生物の行動とは何かを考える人には、大いに参考になるだけでなく、少しは考えが変わるかも知れないだろう。また本書の特徴は、現役の研究者が、最先端の知識を使って書いている。そこから、新しい考えを提唱しているものも有る。角谷氏のトランスポゾンに対する考え方は、植物とバクテリアと材料は異なるが、本学に移ってから始めた私の研究の思わぬ進展を結構予言していた気さえする。

思い出したのだが、本書は高校生に分かるように、と制限されていたように思う。この点については多くの著者は、大うそつきであるか、高校時代の自分を過大評価しているのしか思えない。学者の性(さが)と業(ごう)を感じてしまう本書は、結構読み応えのある本になっている。

*WebELS=クラウド型汎用e-Learning環境のこと。
<http://webelsgl.kyoto-su.ac.jp/>にて、受講生向けに教材としています。ゲストログインしてください。
<http://www.cc.kyoto-su.ac.jp/~nshima/seimeinoroot.s.pdf>でも見るができます。

(しまもと のぶお 総合生命科学部)

Information

◆就活生必見！秋学期の図書館活用ガイダンス

「企業研究ってどうやるの？」そんなあなたを応援したい！

図書館では、就職活動で役立つ情報源の活用方法を伝授するガイダンスを企画しています。具体的には、就職活動で必須の企業研究や面接対策に有効な情報の収集方法、有価証券報告書の就職活動への活用方法などの内容を予定しています。

詳細は決定次第、POST、図書館Webサイトに掲載します。

◆図書館展示企画

「～シェイクスピア生誕450年～ 読むべきか、観るべきか、それが問題だ」

シェイクスピアの名前はあまりにも有名ですね。『ハムレット』『リア王』『マクベス』『オセロー』などの著名な作品をいくつも生み出したイギリスの劇作家・詩人です。

そんなシェイクスピアの生誕450年にあたるこの2014年、図書館では彼の人物像・作品に関連する資料、彼が生きた時代以降（中世～近代）のイギリス文化史や文学、社会・経済思想に関連する資料などを展示します。

数百年の時を経て愛され続けるシェイクスピア。その魅力を存分に味わってください。

◆「第10回京都産業大学図書館書評大賞」の選考・表彰について

京都産業大学図書館書評大賞の選考・表彰に関する日程は、次の通りです。

★入賞発表：平成26年11月28日（金）10時

※図書館内に掲示。POST、図書館Webサイトに掲載します。

★表彰式：平成26年12月17日（水）12時30分～

※表彰式は、書評大賞に関心のある方はどなたでもご参加いただけます。

選考委員に直接講評などを伺える機会です。どうぞご参加ください。

編集後記

磯谷：

「むすびわざサーチ 京都産業大学Discovery Service」のDiscoveryには「発見」という意味があり、今号を編集するに当たってのキーワードにもなっています。これからも常に新しい発見がある、魅力的な広報誌にしていきたいと思えます。

鈴木：

秋ですね。学内で秋学期の一大イベントの一つに神山祭があります。皆さんは参加するのでしょうか。学生生活は長いようで短いもの。こうした学内外のイベントに積極的に参加して、学生生活を心に刻んでおくのもいいものです。振り返った時、「あー、楽しんでたな」って。

北村：

石田衣良氏の著書は、今号でご紹介した以外にもたくさん所蔵していますので、ぜひご利用ください。またそれぞれのコーナーでご紹介している図書、新検索サービス「むすびわざサーチ」も学修などに役立てていただければと思います。

中谷：

秋も深まり読書にはもってこいの季節。本は学びにも趣味にも効くサブリースです。たくさん本を読むと人生が豊かになるとの石田衣良氏の言葉に、遅ればせながら私も試してみたいと思います。みなさまも是非。

松村：

読書を始めたいけれど何をどんな風に読めばいいのか分からないという方、今号の石田衣良さんの講演会特集にヒントがあるかもしれません。色々なアドバイスを頂いたのでぜひ読んでみてください。

寄贈一覧（教員文庫）

寄贈期（2014年4月3日～8月28日）敬称略

藤野 敦子（経済学部）

『不思議フランス：魅惑の謎』春風社、2014

三輪 卓己（経営学部）

『人的資源管理』放送大学教育振興会、2014（執筆）

『多様な人材のマネジメント』中央経済社、2014（執筆）

中田 謙司（経営学部）

『租税条約の読み方：国際税務の基礎知識』中央経済社、1993

『税金を払おう：大人読本』日本経済新聞社、1999

『国際税務入門』日本経済新聞社、2006（共著）

初宿 正典（法務研究科）

『憲法判例』有斐閣、2014（編著）

川越 いつえ（外国語学部）

『入門』ことばの世界』大修館書店、2010（執筆）

『英語の音声を科学する』大修館書店、2007

『言語学への招待』大修館書店、1994（執筆）

所 功（名誉教授）

『伊勢神宮と日本文化：式年遷宮“常若”の英知』勉誠出版、2014

加野 まきみ（文化学部）

『英語教師のためのコーパス活用ガイド』大修館書店、2014（執筆）

水田 和生（名誉教授）

『キミの人生だ・・・いいものにして！』2010-2013（訳）

永田 和宏（総合生命科学部）

『細胞生物学』放送大学教育振興会、2007（共著）

『家族の歌：河野裕子の死を見つめた344日』産経新聞出版、2011

佐々木 利廣（経営学部）

『動物園マネジメント：動物園から見てくる経営学』学文社、2013（共著）

藤井 秀昭（経済学部）

『入門・エネルギーの経済学』日本評論社、2014

難波 和彦（外国語学部）

『バイリンガリズム入門』大修館書店、2014（共著）

嶋本 伸雄（総合生命科学部）

『遺伝子が語る生命38億年の謎：なぜ、ゾウはネズミより長生きか?』悠書館、2014（執筆）

坂東 俊矢（法務研究科）

『18歳から考える消費者と法』法律文化社、2010（共著）